

# かけはし

黄の2組  
~ダイナミックワールド号~



▶ Central Idea  
素材にはそれぞれ特性があり  
人はそれを活用する

「秋のダイナミックワールド」において、黄の2組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。

以前から毎日のように、ペットボトルやゼリーカップ、お菓子の空き箱など、好きな素材を組み合わせ、工作をしていた子どもたち。2組は、2学期になっても「生き物」への興味が続き…。「生き物たちの遊園地みたいになりたい！」という声をきっかけに遊びが広がりました。様々な素材に触れるなかで、素材にはそれぞれ特性があることに気づき、自分たちの遊びに必要なものは、何を使ってつくったらいいのか探究中です。以下は、10月31日現在の遊びの様子です。これから、どう遊びが発展していくか、「ダイナミック参加」をお楽しみになさっててください。

## ★むしむしメリーゴーラウンド★

生き物たちが集まる木をつくっていたら、クルクルまわり、「メリーゴーラウンドみたい！」という声があがり生まれた遊び。



もっと大きな木にしよう

手づくりの木に工作の生き物をつけて遊んでいると、木がまわり…メリーゴーラウンドのように。



下が重くなるように砂を入れて置こう！

その木をまわすと不安定で倒れてしまうので、ペットボトルや紙パックに水を入れ、おもりに。



「自分たちも乗れたらいいね」と、段ボールを使って生き物に見立てた乗り物を製作中！

## ★生き物ウォータースライダー★

「生き物たちが滑るウォータースライダーをつくりたい！」という思いから生まれた遊び。



段差がないほうがよく滑るね

切り開いた紙パックを繋げ、手づくりのザリガニやダンゴムシなどを滑らせて…



ザリガニは、水のエリアに行けたら嬉しいよね♪

滑った先には、それぞれが好む環境をイメージした水辺や湿った土などのエリアが！



たくさん生き物がいたらいいなあ

濡らした新聞紙を丸めて乾かしたダンゴムシや空きカップのザリガニなど、生き物が増えています。

## ★生き物さがしトンネル★

段ボールの中に入り、「土の中みたい」とカブトムシや幼虫などになりきって遊んでいたことから始まった遊び。



テントウムシ発見！

立てたり横に倒したりした段ボールの中に入り、楽しく遊んでいると、それを土のトンネルに。



内側に生き物の折り紙や絵を貼りつけて、それを見つける遊びが始まりました。



ラップの芯は長くて硬いから柱になるね！

遊んでいるとトンネルが倒れてしまうという問題が発生。支える柱をつくりました。

## ★むしむしゲット★

手づくりの葉っぱの下で生き物のなりきり遊びをしていた際、葉っぱの上の生き物が揺れたことから生まれた遊び。



葉っぱの下でダンゴムシ、アリ、カブトムシなどになりきっていた子どもたち。



ゲットするぞ！

揺れる葉っぱの上に手づくりの虫たちを置くと、その虫たちが動き、生きているみたいに見える…



その虫を運動会のダンスで使用した手具で捕まえる遊びへ発展しました。

## ★樹液のジュース屋さん★

色画用紙を細かくちぎり、ジュースに見立てる姿や生き物になりきり樹液を飲む真似をする姿が繋がりができた遊び。



木から樹液が出ているみたい

「大きさも木に似ている」と大きな段ボールを使い、穴を開け、そこから樹液のジュースが。



透明のビニールが本物のゼリーみたい！

「もっと木に見えるように」と、絵の具を使って、段ボールに色を塗りました。



昆虫ゼリーもつくりたいと、透明なビニールにペンで色をつけてつくっています。